

就職先アンケート報告(抜粋)

1. 報告要旨

本報告は、本学の卒業生が就職した企業に対して実施した「2020年度 清泉女子大学 教育についてのアンケート」(以下、就職先アンケート)をもとに、①企業からみた卒業生の評価②企業が学生採用時に求めることについて抜粋してまとめたものである。なお就職先アンケートは2021年1月7日～1月29日までGoogle Formを用いて実施し、25社より回答を得た。

2. 結果の概要

2.1. 企業からの卒業生の評価

本学の卒業認定・学位授与の方針(以下DP)は文学部DPと学科DPの2つが定められており、文学部DPについてはすべての卒業生が満たすべきものとして設けられている(表2-1)。

表 2.1: 清泉女子大学 文学部 DP

清泉女子大学文学部は、本学に所定の年限在籍し所定の単位を修得し、次のような知識、技能、態度、資質を備えた学生に対して卒業を認め、学士の学位を授与する。

- (1) 豊かな教養と専門領域の学芸を修得している。
- (2) 建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムを理解し、他者を思いやる人間性を持ち、奉仕的精神を持って行動できる。
- (3) 複雑な事象を前にしても、問題の根源にさかのぼって論理的に思考を重ね、解決を目指すことができる。
- (4) 言語等によるコミュニケーションの能力を備え、多様な立場や考え方が交錯する中でも対話を続ける姿勢を保つことができる。
- (5) 文化の多様性を理解し、個々の文化の個性を尊重し、国際社会の中で活躍するための基本的な資質を備えている。
- (6) 常に学ぶ態度を忘れず、知識を広め教養を深めて、自分を豊かにしていくことができる。

図2.1は、就職先の企業が今までに採用した清泉女子大学の卒業生について、上記DPの各項目が達成されていたかどうかを尋ねたものである。どの項目についても「達成できていたと思う」が半数を超えており、卒業生はおおむね本学の文学部DPを達成していると評価されていると考えられる。

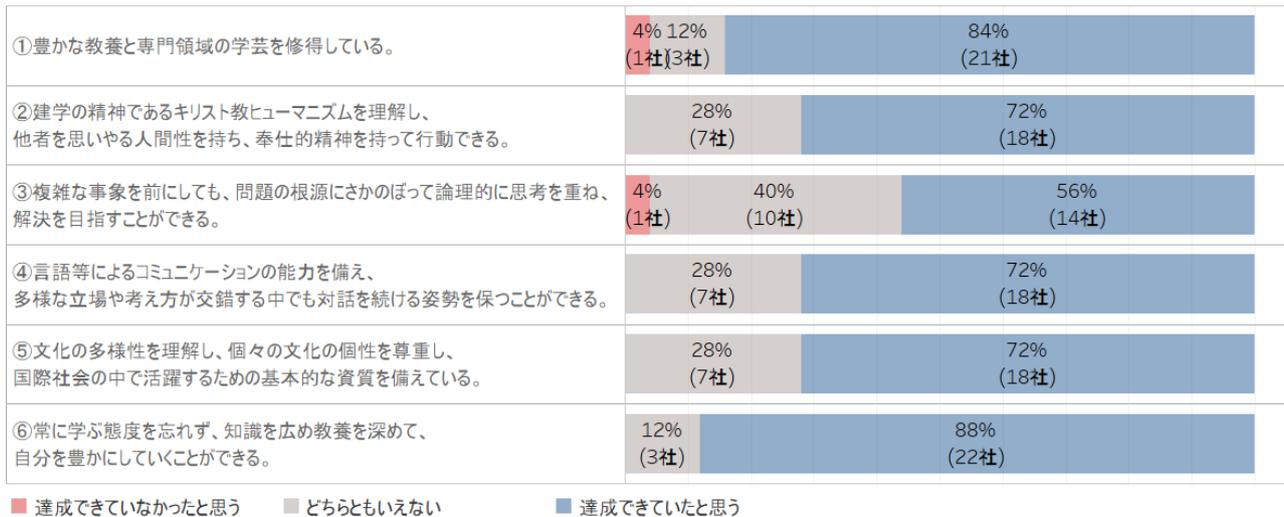


図 2.1：就職先による評価（DP 達成）

2.2. 企業における採用時の重視項目

表 2.2 は、企業が学生を採用する際に各項目をどの程度重視するか（重視する・どちらかといえば重視する・どちらかといえば重視しない・重視しない）を4段階でスコア化し、平均値（以下重視度スコア）を求めたものである。重視度スコアが大きいほど採用時に重視する企業が多い「重視項目」であることを意味する。重視度スコアが大きいのは(6)人にわかりやすく話す能力・(11)多様な人々の理解を得ながら協働する力・(9)問題を見つけて解決方法を考える力であり、小さいのは(7)外国語を使う力・(8)統計やデータサイエンスの知識・技能(3)業務の遂行に必要な ICT スキルであった。このことから、採用時には「他者との協働」「問題発見・解決能力」や、その前提となる「言語コミュニケーション能力」が重視され、専門的な知識についてはあまり重視されていない。つまり、専門的な知識そのものではなく、専門的知識を専門外の人間にもわかるように話す力が重視されているといえる。

表 2.1：採用時に重視する項目と重視度スコア

(1)大学での専門分野に関する知識・理解	1.7
(2)御社の業務に関連する分野の知識・理解	1.8
(3)業務の遂行に必要なICT利用スキル	1.6
(4)文献・資料・数量データを収集・分析する力	1.9
(5)論理的に文章を書く力	2.1
(6)人に分かりやすく話す力	2.9
(7)外国語を使う力	1.2
(8)統計やデータサイエンスの知識・技能	1.5
(9)問題を見つけて解決方法を考える力	2.4
(10)答えのない問題を自分の頭で考え抜く力	2.3
(11)多様な人々の理解を得ながら協働する力	2.8
(12)幅広い知識、ものの見方	2.2
(13)異なる文化に関する知識・理解	1.7
(14)様々な知識やスキルを組み合わせ一つのもの(価値)を創り出す力	2.2

以上